



お問い合わせ 宮城大学 地域連携実践教育推進室

大和キャンパス

宮城県黒川郡大和町学苑1-1 TEL:022-377-8649

Email: cp-suishins@myu.ac.jp (受付時間/平日9:00~17:00)

宮城大学地域連携実践教育プログラムは、「JA新みやぎ」および「JA共済」の地域貢献活動の支援を受けています。

ANNUAL REPORT 2021

宮城大学 フィールドワーク系科目

地域連携実践教育プログラム アニュアルレポート 2021

宮城大学 地域連携実践教育推進室



地域とともに学ぶ。



地域とともに育む未来 — 東北から発信する持続可能な地域・コミュニティ —

東日本大震災から11年を迎えます。私たちの目に映る震災復興はほぼ完成したかに見えますが、「心の復興」を含めた真の復興は、まだ道半ばと言えるでしょう。震災は地域に甚大な被害を与えましたが、その一方で、私たちに「地域・コミュニティの価値」や「人と人の関わり・つながりの重要性」を再認識させる契機となりました。また、いくつかの被災地においては、復興をきっかけとした新たな取り組みの中で「希望」も生まれてきています。

コミュニティ・プランナープログラムは、阪神・淡路大震災の復興に取り組む兵庫県立大学と東日本大震災の震災復興に取り組む宮城大学が連携し、地域に根ざす公立大学として、これからの地域の担い手を育てていく「地域連携実践教育プログラム」です。本プログラムは、文部科学省の補助事業としてスタートし、2017年度の大学改革において、全学群必修科目の地域フィールドワーク、コミュニティ・プランナープログラムとして再構築され、5年目を迎えました。人口減少時代といつかつて経験したことのない未知の世界に入り、大学は地域の未来を牽引する「知の拠点」として機能を果たしていかなければなりません。地域の未来を担う人材の育成は、大学にとっても喫緊の課題です。本プログラムは、こうした地域の期待を踏まえ

ながら、学生が地域と共に学び、その経験を地域に還元していくための実践的な教育プログラムとなっています。学生自らが地域の課題を発見し、様々な学習を踏まえて、地域の解決策を提案していく力を得ていくことが本プログラムの目的です。本プログラムを履修した学生は、全課程を修了すると、卒業時に「コミュニティ・プランナーアソシエイト」が授与されることになります。

2021年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が続く、宮城県のみならず全国各地、全世界の人々の生活と社会に大きな影響と変化が及びました。宮城大学では、遠隔会議システムを有効に活用しながら、対面を基本とした講義を実施しており、「withコロナ」時代における新たな地域連携のあり方を模索し展開する挑戦の年となりました。これからも、これらの経験を踏まえ、宮城県や被災地の自治体、NPO、企業、市民団体等と連携を深めつつ、創造的復興の実現と持続可能な地域創造に資する人材育成を目指していきます。地域連携実践教育プログラムから輩出される地域人材は、東北の未来を創造していく重要な礎となっていきましょう。

宮城大学
地域連携実践教育推進室長 **郷古 雅春**

地域連携実践教育とは

宮城大学では、地域の歴史・文化・資源を活かしたコミュニティづくりや、地域の人のびとともに課題解決ができる人材(コミュニティ・プランナー)の育成を目指す教育プログラムを実施しています。

1年次に全学必修科目「地域フィールドワーク」、2～3年次に全学共通選択科目

「CP概論及び演習」「CP実践論」「CPフィールドワーク演習」を開講し、

主に「講義(座学)+フィールドワーク(実践)」の形式で学びを深めていきます。

地域コミュニティの現場に触れ、自らの目でみて・聞いて・体験し、学習することで、

地域の人のびとともに考えながら、地域本来の良さを活かした、

これからのコミュニティづくりの実践手法を習得していきます。

カリキュラム概要

基盤教育・全学必修科目

1年 前期

地域フィールド
ワーク

CP科目・全学共通選択科目

2年 前期

CP概論及び
演習

2年 後期

CP実践論

3年 前期

CPフィールド
ワーク演習

CP関連科目・選択科目

CP関連科目

コミュニティ・
プランナーアソシエイト

コミュニティ・ プランナー／ コミュニティ・ プランナー プログラム

現在、公共機関のまちづくり分野、福祉や医療、商業や農業など、あらゆる分野において、地域主体の視点を持った人材が求められています。

本プログラムでは、コミュニティ・プランナーとして、

地域が抱える多様な課題の解決や、

地域が求める多様なコミュニティづくりに

貢献できる人材の育成を目指し、

教育プログラムを展開しています。

学群を横断し、さまざまな教員が関わり運営しています。

令和3年度 地域フィールドワーク 統括教員

郷古 雅春教授／大熊 恵子教授／平岡 善浩教授／舟引 敬明教授／
石田 祐教授／川島 滋和教授／小林 仁教授／作田 竜一教授／
西川 正純教授／木村 三香准教授／齊藤 奈緒准教授／
佐々木 秀之准教授／千葉 克己准教授／中沢 峻助教
ほかクラス担当教員14名

地域連携実践教育推進室

青木 茂特任調査研究員／佐々木 めぐみ事務補助／牧野 信夫事務補助

令和3年度 コミュニティ・プランナー科目 担当教員

看護学群 安齋 由貴子教授／大熊 恵子教授
事業構想学群 郷古 雅春教授／平岡 善浩教授／石田 祐教授／
佐々木 秀之准教授／千葉 克己准教授／
友刈 貴之助教／中沢 峻助教
食産業学群 小林 仁教授／作田 竜一教授
基盤教育群 阿部 克成特任助教／田澤 祐子特任助教

単位について

基盤教育科目の「地域フィールドワーク」1科目2単位、CP科目の「CP概論及び演習」「CP実践論」「CPフィールドワーク演習」の3科目6単位、各学群既存科目である「CP関連科目」のうち2領域以上から6科目12単位以上を履修します。合計20単位以上を履修することで卒業時に宮城大学と兵庫県立大学の連名で「コミュニティ・プランナーアソシエイト」の称号及び証書が授与されます。

GREENの視点

持続可能(サステナブル)な地域コミュニティを構築し、維持していくためには、緑ある環境をベースにして、人、植物、動物、全ての生命(いのち)がつながり、関わり合う必要があります。このような、すべての生命(いのち)のつながり、関わりを意味するものを「GREEN」として、本プログラムにおける新視点として設定しています。

宮城県内自治体との連携

地域連携実践教育プログラムの開講科目では、フィールドとして宮城県内各地の自治体にご協力をいただき、講義を実施しています。フィールドワークでの調査やヒアリング、自治体職員や地域の方からのレクチャーなど、地域との連携を深めながら実践的な学びのプログラムを展開しています。

■2014年(平成26年度)

大崎市(古川) CP概論/CP基礎演習

■2015年(平成27年度)

大崎市(鬼首) CP概論/CP基礎演習
大崎市(古川) CP実践論

■2016年(平成28年度)

大崎市(岩出山) CP概論/CP基礎演習
大崎市(鬼首) CP実践論
大崎市(古川) CFW演習

■2017年(平成29年度)

大和町 地域FW
富谷市 地域FW
利府町 地域FW
蔵王町 地域FW
大崎市(岩出山) CP実践論
大崎市(鬼首) CFW演習

■2018年(平成30年度)

美里町 地域FW/CP実践論
東松島市 地域FW
加美町 地域FW
岩沼市 地域FW
白石市 地域FW
村田町 地域FW
丸森町(耕野) CP実践論
大崎市(岩出山) CFW演習

■2019年(令和元年度)

大崎市(松山) 地域FW/CP実践論
加美町 地域FW
美里町 地域FW
女川町 地域FW
亶理町 地域FW
白石市 地域FW/CP実践論
石巻市(牡鹿) CP概論及び演習/CP実践論
富谷市 CP実践論
大崎市(古川) CFW演習
大崎市(鳴子) CFW演習
仙台市 CFW演習
丸森町 CFW演習

■2021年(令和3年度)

大崎市(鹿島台) 地域FW
女川町 地域FW
亶理町 地域FW/CFW 演習
七ヶ浜町 CP実践論
村田町 CP実践論
栗原市 CFW演習
東松島市 CFW演習
富谷市 CFW演習
仙台市(根白石・人來田) CFW演習
名取市(閑上) CFW演習

■2020年(令和2年度)

大崎市(田尻) 地域FW
女川町 地域FW
亶理町 地域FW/CP実践論
白石市 CP実践論/CFW演習
富谷市 CFW演習
石巻市(牡鹿) CFW演習
大崎市(古川) CFW演習
仙台市 CFW演習
(中心街・根白石・坪沼・人來田)



宮城大学と兵庫県立大学との連携

阪神・淡路大震災および東日本大震災からの復興に取り組む兵庫県立大学と宮城大学が、密接な連携体制のもと、コミュニティ・プランナープログラムの構築を進めてきました。現在でも被災地に立地する公立大学として互いの強みを生かし、プログラムを共同で展開しています。

兵庫県立大学

- ▶神戸商科キャンパス (大学本部・経済学部・経営学部 ほか)
- ▶姫路工学キャンパス (工学部 ほか)
- ▶播磨理学キャンパス (理学部 ほか)
- ▶姫路環境人間キャンパス (環境人間学部 ほか)
- ▶明石看護キャンパス (看護学部 ほか)
- ▶緑環緑景観キャンパス (緑環環境景観マネジメント研究科 ほか) (ほか、9つのキャンパス)

宮城大学

- ▶大和キャンパス (事業構想学群・看護学群)
- ▶太白キャンパス (食産業学群)



令和3年度前期(1年次 全学群必修科目)

地域フィールドワーク

- 対面講義
- 指定日開講・集中講義
- 全6回
- 履修学生：454名



フィールドから学びや気づきを得る

宮城大学における基盤教育に位置づけられ、1年次の全学群必修科目として開講しています。

地域の自然・歴史・文化等を学びながら、グループワークやフィールドワークを通して地域の魅力や課題など、様々な気づきを促します。地域社会の将来に対する使命感を涵養し、今後の大学生活における主体的な学びに向けた動機づけとすることも目指しています。

令和3年度は、大崎市(鹿島台地域)、女川町、亶理町の3自治体をフィールドとしました。自治体のご協力のもと、看護学群、事業構想学群、食産業学群の学生454名が受講し、指定日・集中講義形式で開講した講義を通して、フィールドとの関わりから学びや気づきを得ました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりととりながら、対面での講義を実施しました。本講義では、地域の事業者等へのインタビューで構成する教材動画の視聴を取り入れながら、自治体職員の方々とディスカッション、学生同士によるグループワークをはじめ、学生各自が設定したテーマから地域を捉え、基礎的な調査に取り組みました。また、本科日のメインプログラムである現地フィールドワークを行い、公共施設、企業、住民団体、NPO等を訪問し、地域の魅力や課題を調査しました。グループごとに調査を振り返り、フィールドワークで得た成果や課題等を確認・共有しました。講義の総括として、テーマ設定の背景・目的・調査結果・分析等をまとめた「地域調査のまとめ」を作成し、プレゼンテーションを行いました。

CP概論及び演習

●対面講義 ●毎週水曜5限開講
●全15回 ●履修学生：80名



必要な基礎知識の習得

コミュニティ・プランナープログラムの2年次前期の科目として、開講しています。

調査・企画力、ワークショップ運営やヒアリング技術など、コミュニティ・プランナーとしてフィールドに出た際に必要なリテラシーを学び、地域の方々のパートナーとして課題解決に貢献できる基礎知識の習得を目指します。

地域コミュニティについての基礎的知識を得たうえで、自身とコミュニティの関わり方について個人ワークで検討し、コミュニティ・プランナーの役割や姿勢について捉えていきます。地域の現状を把握する手法として、地形・空間・生活の視点をテーマにそれぞれの専門分野の教員から、地域の多様な捉え方を学びます。また、地域における活動者をゲストに迎え、それぞれの

活動を事例としてご紹介いただき、活動のきっかけや想い、捉えている課題、活動の仕組み、地域との関わり方をはじめ、コミュニティ・プランナーとして活躍する方々の考えに触れて、素養への気づきを得ました。教員及びゲストによるレクチャーを踏まえて、地域におけるプランニングに必要なリテラシーの一つとして「プロジェクトマネジメント」を学び、個人ごとにマイプロジェクトの検討・作成に取り組むことを通して、プランニングの基本的な手法や考え方について理解を深める機会としました。今年度は、レクチャーや個人ワークをはじめとした座学を中心に、学生同士のグループワークやディスカッションから、コミュニティ・プランナーのイメージを掴んでいきました。

CP実践論

●対面講義 ●毎週水曜3限開講
●全15回 ●履修学生：31名



トップランナーから実践を知る

「CP概論及び演習」に続く2年次後期の科目として開講しています。地域コミュニティに関わる専門家とのフィールドワーク、講義における事例把握や実体験を通じて、地域活性化策を実行するプロセスへの理解を深め、より実践的な知識や技術の獲得と学びの深化をねらいとしています。

令和3年度の履修学生は、大和キャンパスではセキ浜町、太白キャンパスでは村田町をフィールドとし、自治体や地域の方々のご協力のもと、講義を実施しました。本講義では、復興・地域づくりの実践者や、フィールドとなっている自治体職員の方々による、実践報告や地域に関するレクチャーを通して、地域についての知識や理解を深め、サイトビジットに向けた準備に取り組むとともに、コミュニティ・プランナーの果たすべき役割について

の学びを深めています。現地調査となるサイトビジットでは、事前の学習や基礎的な調査、プロジェクトテーマの検討に基づき、実践者へのヒアリングや現場の視察を行いました。フィールドで情報収集を行い、プロジェクトの企画・検討につなげていきます。サイトビジットを踏まえて、今年度は、セキ浜町及び村田町における「地域活性化」を目標としたプロジェクトの検討に取り組み、具体的なアイデアの創出や企画から提案に向けたプロセスを学び、報告会に向けたプロジェクトの検討とまとめを行いました。最終講義では、検討したプロジェクトについてプレゼンテーションを実施し、検討結果についてお世話になった地域の方々へ報告する場としました。

CPフィールドワーク演習

●対面講義 ●指定日開講・集中講義
●全15回 ●履修学生：33名



知能を技能に変える実習

コミュニティ・プランナープログラムの学群教育における最終科目として「CPフィールドワーク演習」を開講しています。コミュニティ再生の実践的経験を通じて、コミュニティ・プランナーとしての職能を理解しつつ、様々なステークホルダーとの協働手法を習得することを目指しています。

本科目の履修学生は、大和・太白の両キャンパス合わせて、計7つのグループに分かれ、栗原市、東松島市、仙台市泉区根白石地域、仙台市太白区人來地域、富谷市、名取市閑上地域、亶理町荒浜地域の7地域をフィールドに、地域における企画の検討から実践を通して、プロジェクトベースで学修しました。自らが選択したフィールドやテーマについて、フィールドワークを通して地域を調査するとともに、地域住民のみなさま

をはじめとしたステークホルダーとの調整、地域課題解決に向けたアプローチの検討について試行錯誤を重ね、プロジェクトの立案、実践へとつなげていきます。地域との関係性を育み、地域との関わりからコミュニティ・プランナーとしての気づきや学びを深め、講義終了後も、研究や活動を通して継続した地域での取り組みにつなげていこうとする学生の主体的な動きも見られています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、対面による活動を積極的に実施し、一般の方々を対象としたイベントの開催に挑戦するチームもあり、社会状況に応じて試行錯誤を重ねる様子や課題解決に向けたアプローチの検討も多く見られました。



兵庫県立大学との連携

CP科目合同発表会及び交流会

令和3年12月19日(日) 10:00-12:10

兵庫県立大学と宮城大学の学生が、遠隔会議システム(Zoom)を使って、CP実践論・CPFW演習の合同発表会及び交流会を実施しました。宮城大学と兵庫県立大学の3年生が、講義を通して検討したプロジェクトやプロジェクトの実施による成果を発表したのち、両大学の2年生も交えたグループに分かれ、ディスカッションに取り組みました。



CP科目合同発表会及び交流会(過年度の様子)※令和3年度はオンライン開催

活動実績・メディア掲載

2017年(平成29年度)

WEB媒体(自治体)

宮城大学Webサイト掲載

宮城大学地域フィールドワーク「宮城大学生がまち歩きを実施」
https://www.town.taiwa.miyagi.jp/soshiki/matisei/5419.html
(地域フィールドワーク)

▶富谷市Facebookページ掲載 6月17日、7月1日、7月8日、8月8日(地域フィールドワーク)

大崎市Webサイト掲載

大崎市「フォトニュース」宮城大学生が大崎市の地域活性化のため活動しました」
http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/35,22400.html(CP科目)
自治体広報誌

▶広報たわいわ 8月号掲載「宮城大学生がまち歩きを実施」(地域フィールドワーク)

▶広報りふ、8月号掲載「利府町×宮城大学 連携事業 地域フィールドワーク」

▶広報たわいわ「たわいわのわ」連載 平成29年10月号～平成30年2月号

(地域フィールドワーク7月1日掲載)

テレビ

▶東北放送 Nスタみやぎ 平成29年7月1日放送

(地域フィールドワーク7月1日掲載)

新聞

▶河北新報 平成29年8月21日掲載(地域フィールドワーク8月8日掲載)

▶日本経済新聞 平成30年1月27日掲載(地域フィールドワーク)

▶日本経済新聞 Web版 平成30年1月27日掲載(地域フィールドワーク)

▶河北新報 平成30年1月28日掲載(復興人材育成セミナー)

事例集

▶一般社団法人公立大学協会(2018)

「公立大学の地域貢献機能 地域貢献プログラムの「LEAD」による事例分析」
p.9 宮城大学 自治体との協働による被災地域の復興・再生・発展を担う人材育成プログラム」

2018年(平成30年度)

WEB媒体(自治体)

▶白石まちづくり株式会社 蔵富人

Facebookページ掲載 6月6日(地域フィールドワーク)

▶美里町 起業創業サポートセンター kiribi Facebookページ掲載

4月25日、6月6日(地域フィールドワーク)、10月17日(CP実践論)

自治体広報誌

▶市報ひがしまつしま 7月1日号掲載(地域フィールドワーク)

テレビ

▶ミヤギテレビ OH!パンデス 平成30年6月18日放送

(地域フィールドワーク6月6日講義・東松島でのフィールドワークの様子)

▶東北放送Nスタみやぎ 平成30年11月15日放送

(CP実践論11月14日講義・丸森町でのフィールドワークの様子)

新聞

▶河北新報 平成30年10月28日掲載(CP実践論10月24日講義・美里町)

▶河北新報 平成31年1月18日掲載(CP実践論1月9日講義・最終報告会)

▶河北新報 平成31年2月18日掲載

(復興人材育成セミナー2月9日・宮城学院女子大学×宮城大学合同活動報告会)

事例発表等(学会等)

▶郷古 雅春、中沢 峻、千葉 克己、高橋 信人、佐々木 秀之(2018)

「地域連携型実践教育プログラムと農業農村工学について」農業農村工学学会第67回大会講演会

▶高橋 結、佐々木 秀之、中沢 峻、郷古 雅春(2018)

「大学教育における地域系科目の増加とNPOとの連携可能性」

日本NPO学会 第20回年次大会

▶高橋 結、佐々木 秀之、風見 正三(2018)

「サービスマーケティング科目における受講者の省察に関する研究」

日本計画行政学会 第41回全国大会

▶高橋 結、中沢 峻、佐々木 秀之、郷古 雅春(2018)

「地域人材育成に向けたアクティブラーニングモデルの構築」『季刊地理学』pp.38-39

▶郷古 雅春、佐々木 秀之、中沢 峻、佐藤 加奈絵、高橋 結

仙台防災未来フォーラム2019ブース出展

「宮城大学復興に資する人材育成に向けた地域連携型実践教育プログラム」

2019年(令和元年度)

自治体広報誌

▶広報わたり7月号掲載「地域課題を町歩きで考察 大学生がフィールドワーク」

テレビ

▶Nスタみやぎ 令和元年6月24日放送

(6月23日被災沿岸フィールドワーク:ポータランド州立大学フィールドワークの様子)

新聞

▶河北新報(石巻かほく) 令和元年6月5日掲載(CP概論及び演習5月25日講義:石巻市杜鹿ストリートビジット)

▶河北新報 令和元年9月8日掲載(学生企画:石巻市杜鹿地区萩浜での企画実施)

▶河北新報(石巻かほく) 令和元年9月11日掲載(学生企画:石巻市杜鹿地区萩浜での企画実施)

▶環境新聞(コラム) 令和元年9月11日掲載(コミュニティ・プランナープログラムについて)

▶大崎タイムス 令和元年11月30日掲載(学生企画:CPFW演習 古川大正浪漫デー)

事例発表等(学会等)

▶中沢 峻、高橋 結、佐藤 加奈絵、佐々木 秀之、郷古 雅春 世界防災フォーラム2019 ポスター発表

「Joint Development and Implementation of a Community Engagement Model Practical Education Program Based on Disaster Response Expertise」令和元年11月9日～12日

▶中沢 峻、高橋 結、佐藤 加奈絵、佐々木 秀之、郷古 雅春 世界防災フォーラム2019 パネル展示

「Learning in tandem with the region: Community Engagement Model Practical Education Program」令和元年11月9日～12日

▶宮城大学後援会「結城登美雄氏講演会&パネルディスカッション」

地域連携型実践教育パネル展示 令和元年11月9日

2020年(令和2年度)

自治体広報誌

▶市報とみや11月掲載(地域連携型実践教育)

▶広報わたり12月掲載「隠れた魅力を現地で発見」(地域フィールドワーク課外10月31日)

テレビ

▶ミヤギテレビ OH!パンデス 令和2年8月20日放送(CPFW演習8月5日:坪沼園での取材に協力)

新聞

▶河北新報令和2年8月11日掲載(地域フィールドワーク7月29日講義・オンラインによる最終発表会)

▶大崎タイムス令和2年11月2日掲載(学生企画:CPFW演習ふるかわRIDE)

事例発表等(学会等)

▶佐藤 加奈絵、中沢 峻、高橋 結、友利 貴之、佐々木 秀之(2020)

「公共施設の長寿化計画の策定プロセスにおける産官学連携のあり方に関する

一考察—一大学でのPBL科目との連携に着目して」日本計画行政学会第43回全国大会

2021年(令和3年度)

テレビ

▶仙台放送 Live News イット!

令和3年10月28日放送(CP実践論10月20日:七ヶ浜町でのサイトビジット)

新聞

▶河北新報

令和3年12月10日掲載(学生企画:CPFW演習スマホ体験会)

▶日本農業新聞

令和4年1月6日掲載(令和3年12月23日JA新みやぎからの奨学寄附金贈呈式)

事例発表等(学会等)

▶中沢 峻・青木 茂・阿部 晃成・佐々木 秀之・郷古 雅春(2021)

「地域連携実践教育プログラムの共同開発と実践 —宮城大学・兵庫県立大学に

おけるコミュニティ・プランナーの育成」第11回全国農協ネットワーク宮城大崎大会

CPアソシエイト授与者の就職(内定)先名

公務員

国土交通省 東北地方整備局

岩手県

石巻市(宮城県)

大館市(秋田県)

柏崎市(新潟県)

大和町(宮城県)

登米市(宮城県)

千葉県

栗原市(宮城県)

仙台市(宮城県)

東京都多摩市

宮城県庁

福島県

東北運輸局

金融関係

(株)荘内銀行

東北労働金庫

盛岡信用金庫

(株)北日本銀行

企業・団体

会津よつば農業協同組合

(JA会津よつば)

伊藤建設(株)

NECネットイノベーション(株)

NTT東日本(株)

(株)奥羽木工所

大蔵山スタジオ(株)

(株)コメリ

JA東日本くまひい飼料(株)

鈴木農場

(株)ソルブレイン

国立大学法人東北大学

東北大学病院

国立研究開発法人

農業・食品産業技術総合研究機構

東北電力(株)

なんと農業協同組合(JAなんと)

日鉄日新製鋼(株)

パーソルプロセス&テクノロジー(株)

(株)ピーエス三菱

福山通運(株)

マックスバリュ南東北(株)

三井住友海上火災保険(株)

ヤマカノ醸造(株)

ヤマニ建設(株)

自営業

イオンリテール(株)

エムサービス(株)

オリジン東秀(株)

カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)

国分東北(株)

太子食品工業(株)

東日本旅客鉄道(株)

富士通Japan(株)

ベシス(株)

丸西産業(株)

宮城県商工会連合会

宮城県信用保証協会

(株)トラストライフ

(株)Wiz

(株)おのみ

(株)クスリのアオキ

(株)スズキ自販宮城

(株)セウ・エンタープライズ

(株)バル

(株)メンバーズ

(株)サングリン太陽園

(株)ケアリッツ・アンド・パートナーズ

(株)東流社

(株)イー・ストン

こころネット(株)

(株)加島屋

イオン東北(株)

(株)インタレイズ

(株)KDDIエボルバ 仙台センター

日本住宅(株)

エン・ジャパン(株)

アイ・ティー・エックス(株)

東京システムハウス(株)

データコム(株)

(株)藤崎

(株)カチタス

(株)NEXTスタッフサービス

中央開発(株)

東急リパブル(株)

(株)JC

東北放送(株)

中央システム(株)

トランスコスモス(株)

JR東日本東北総合サービス(株)

アイリスオーヤマ(株)

東北インテリジェント通信(株)

(株)英進

総合キャリアグループ

(株)マクミル

住友生命保険(株)

地域連携実践教育のあゆみ

2012年(平成24年度)

文部科学省 大学間連携 共同教育事業 採択事業

宮城大学・兵庫県立大学

「コミュニティ・プランナー育成のための実践的教育課程の構築」

試行プログラム(部会活動等)を実施

2013年(平成25年度)

コミュニティ・プランナーカリキュラム検討、試行授業実施

試行プログラム(部会活動・兵庫宮城学生交流会等)を実施

2014年(平成26年度)

コミュニティ・プランナー科目 開講

コミュニティ・プランナー教育センター(CPEC)運営開始

1(2)年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市古川地区):履修生144名

1(2)年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市古川地区):履修生68名

2015年(平成27年度)

2(3)年次前期 コミュニティ・プランナー実践論(大崎市古川地区):履修生15名

1年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生71名

1年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生37名

2016年(平成28年度)

地域フィールドワークカリキュラム検討開始

(10月部門設置)文部科学省 事業終了

第1期生 卒業・アソシエイト授与者3名

3(4)年次前期 CPFW演習(大崎市古川地区):履修生9名

2年次前期 コミュニティ・プランナー実践論(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生22名

1年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市岩出山地区):履修生157名

1年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市岩出山地区):履修生81名

2017年(平成29年度)

宮城県「宮城大学復興人材育成事業」にて事業実施

宮城大学 学群学類制移行

1年次 全学必修科目 地域フィールドワーク 開講

第2期生 卒業・アソシエイト授与者6名

3年次前期 CPFW演習(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生21名

2年次前期 コミュニティ・プランナー実践論

(大崎市岩出山地区):履修生18名

1年次前期 地域フィールドワーク

(大和町、富谷市、利府町、蔵王町):履修生437名

2018年(平成30年度)

第3期生 卒業・アソシエイト授与者20名

3年次前期 CPFW演習(大崎市岩出山地区):履修者12名

2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習:履修生60名

2年次後期 コミュニティ・プランナー実践論

(美里町・丸森町耕野地域):履修生43名

1年次前期 地域フィールドワーク

(東松島市・加美町・美里町・岩手市・白石市・村田町):履修生431名

2019年(令和元年度)

第4期生 卒業・アソシエイト授与者12名

3年次前期 CPFW演習

(大崎市鳴子温泉地域、大崎市古川地区、仙台市定禅寺通り、丸森町):履修者31名

2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習

(石巻市杜鹿地区):履修者118名

2年次後期 コミュニティ・プランナー実践論

(大崎市松山地区、富谷市しんまち地区、石巻市杜鹿地区萩浜、白石市):履修者63名

1年次前期 地域フィールドワーク

(大崎市松山地区、加美町、美里町、大川町、亘理町、白石市):履修生452名

2020年(令和2年度)

第5期生 卒業・アソシエイト授与者30名

3年次前期CPFW演習

(大崎市古川地区、白石市、仙台市泉区根白石地域、富谷市、石巻市杜鹿地区

萩浜地域、仙台市青葉区中心街、仙台市太白区坪沼地域)履修者:45名

2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習:履修